

2017(平成29)年度決算

財務の概要

2017(平成29)年度決算の概要

- ・収入増: 学生生徒等納付金、經常費補助金、雑収入
- ・支出減: 人件費、管理経費
- ・基本金組入前当年度収支差額: 1,574,461千円(予算 40,082千円)
(16決算532,229千円)
- ・事業活動収支差額比率: 12.1%(予算 : 0.3%から11.8%好転)
(16決算: 3.2%から 8.9%好転)

1. 事業活動収支計算書

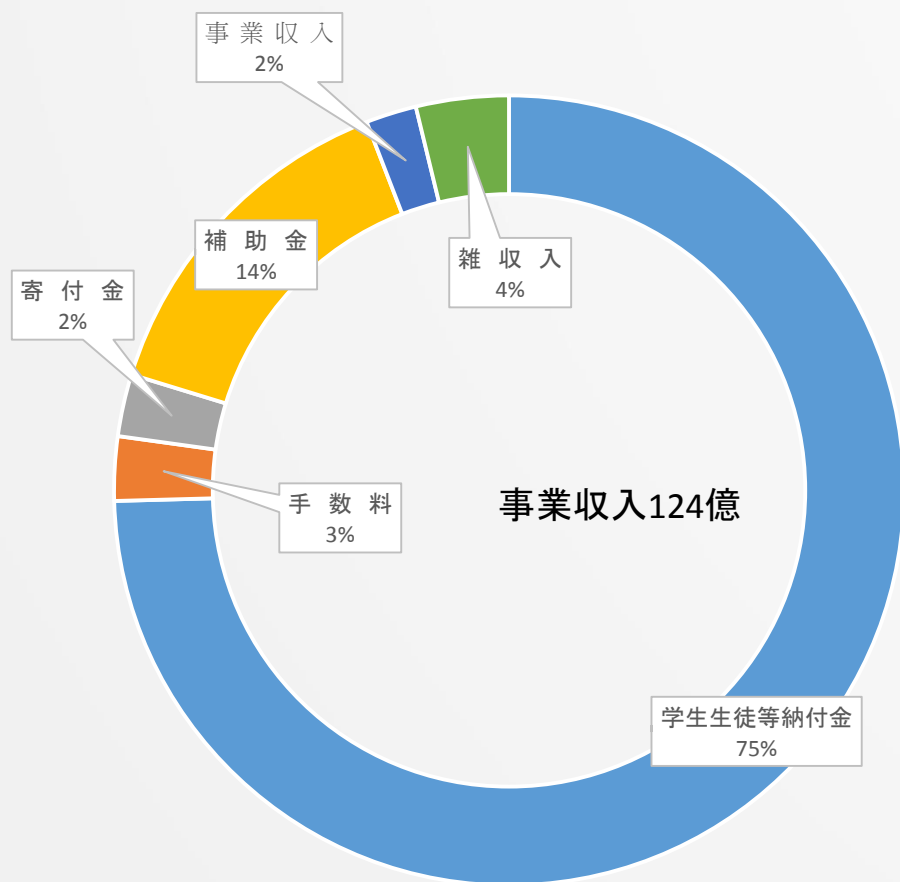
(1) 教育活動収支 事業活動収入の部

※端数処理のため、合計金額等が一致しない場合があります。

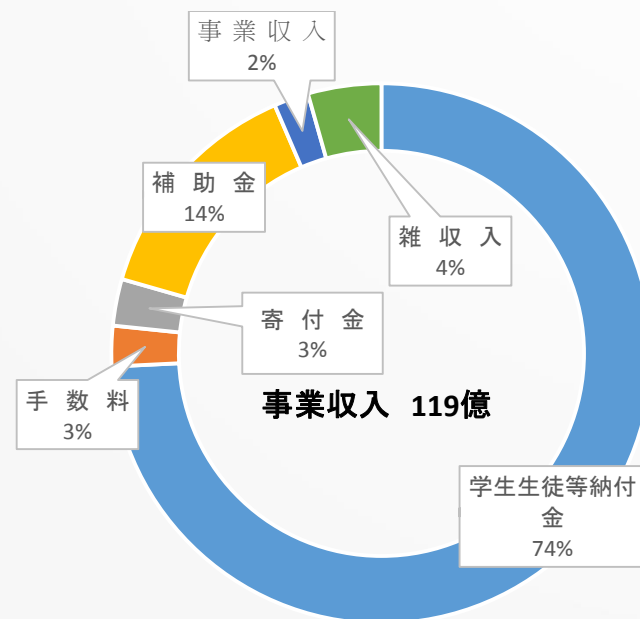
教育活動収支 事業活動収入に占める科目ごとの割合

事業活動収支計算書

【2017(平成29)年度】



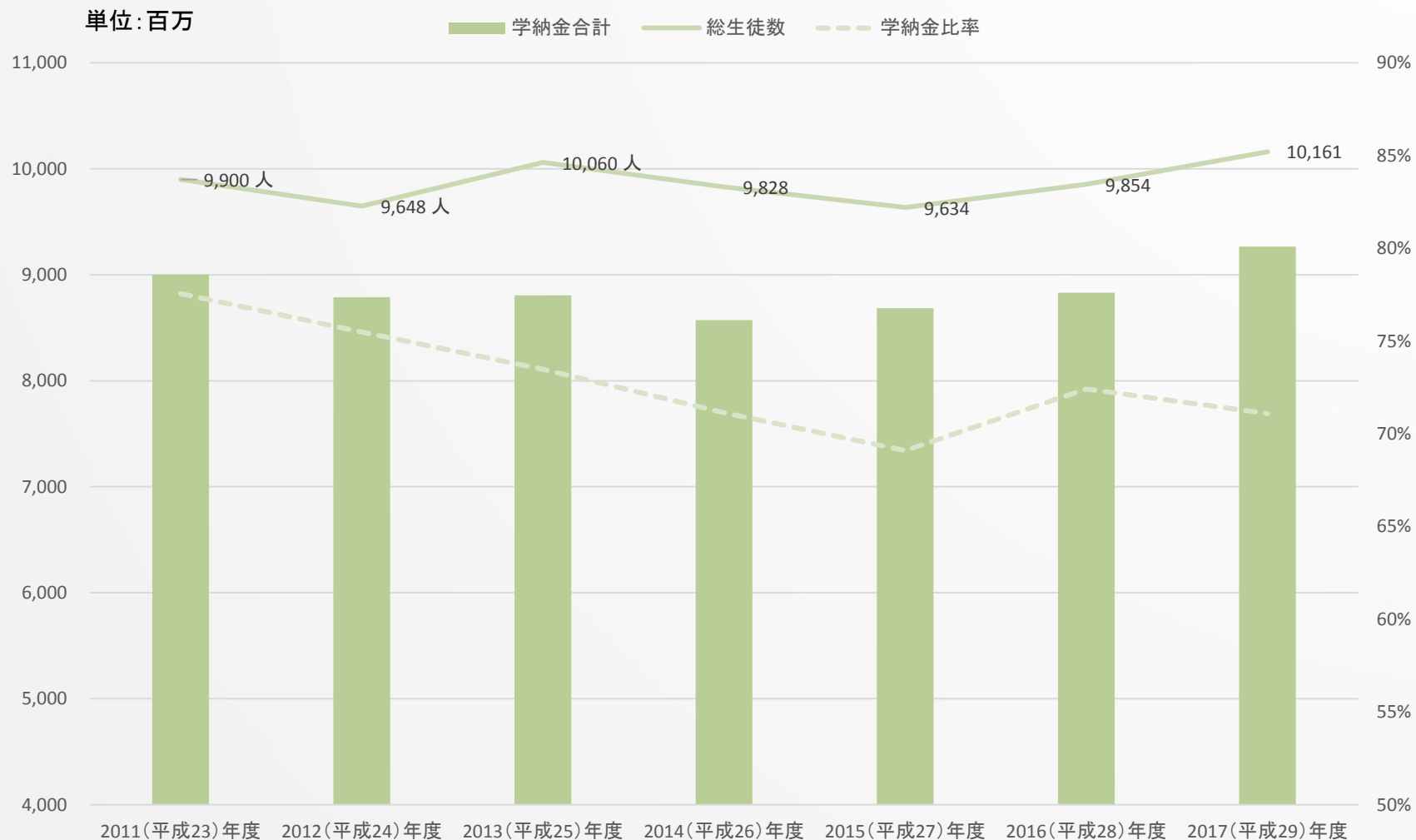
【2016(平成28)年度】



- 学生生徒等納付金
- 手数料
- 寄付金
- 補助金
- 事業収入
- 雑収入

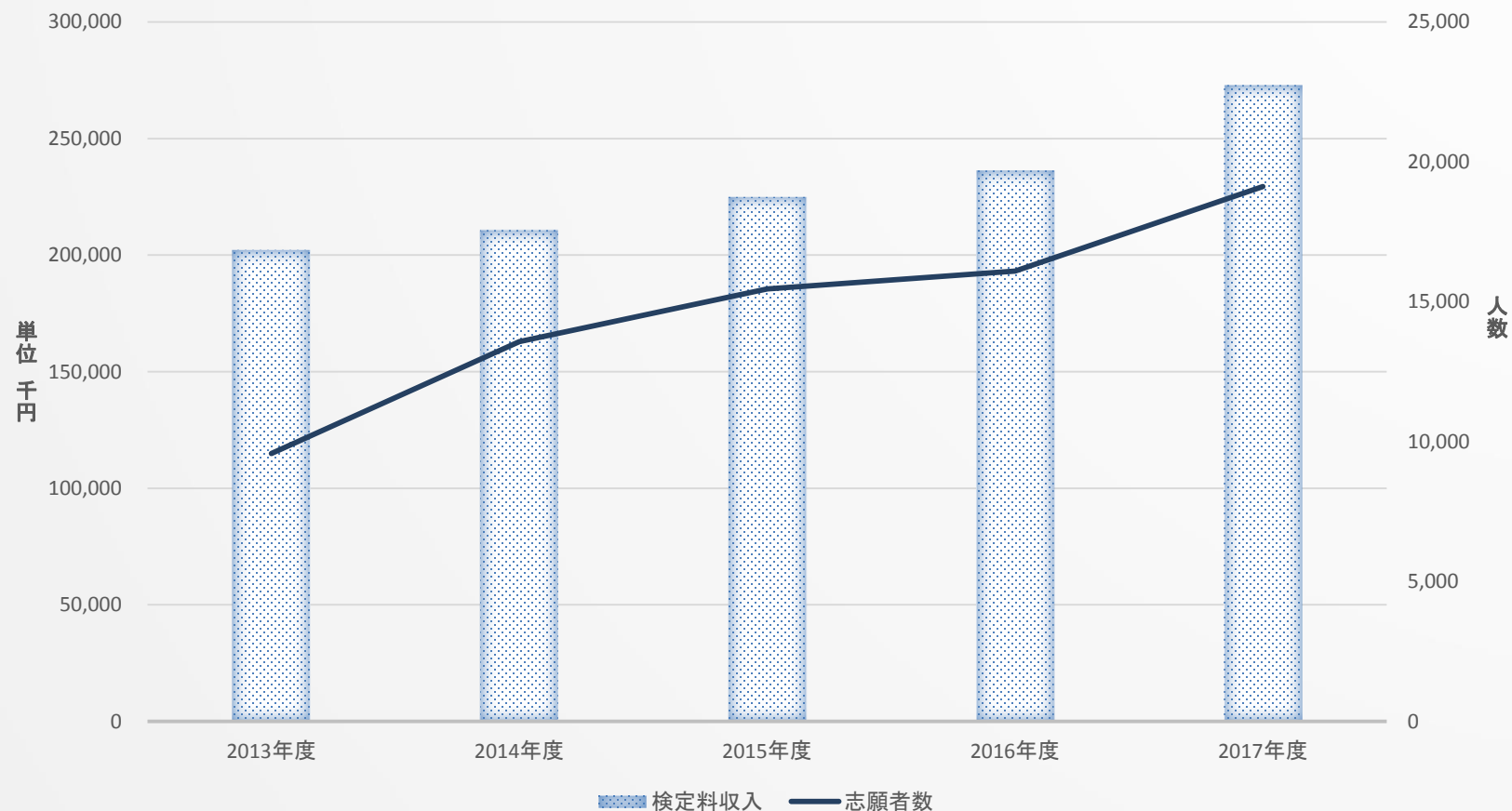
学生数と学生生徒等納付金の推移

事業活動収支計算書



入学検定料収入と志願者数の推移(大学)

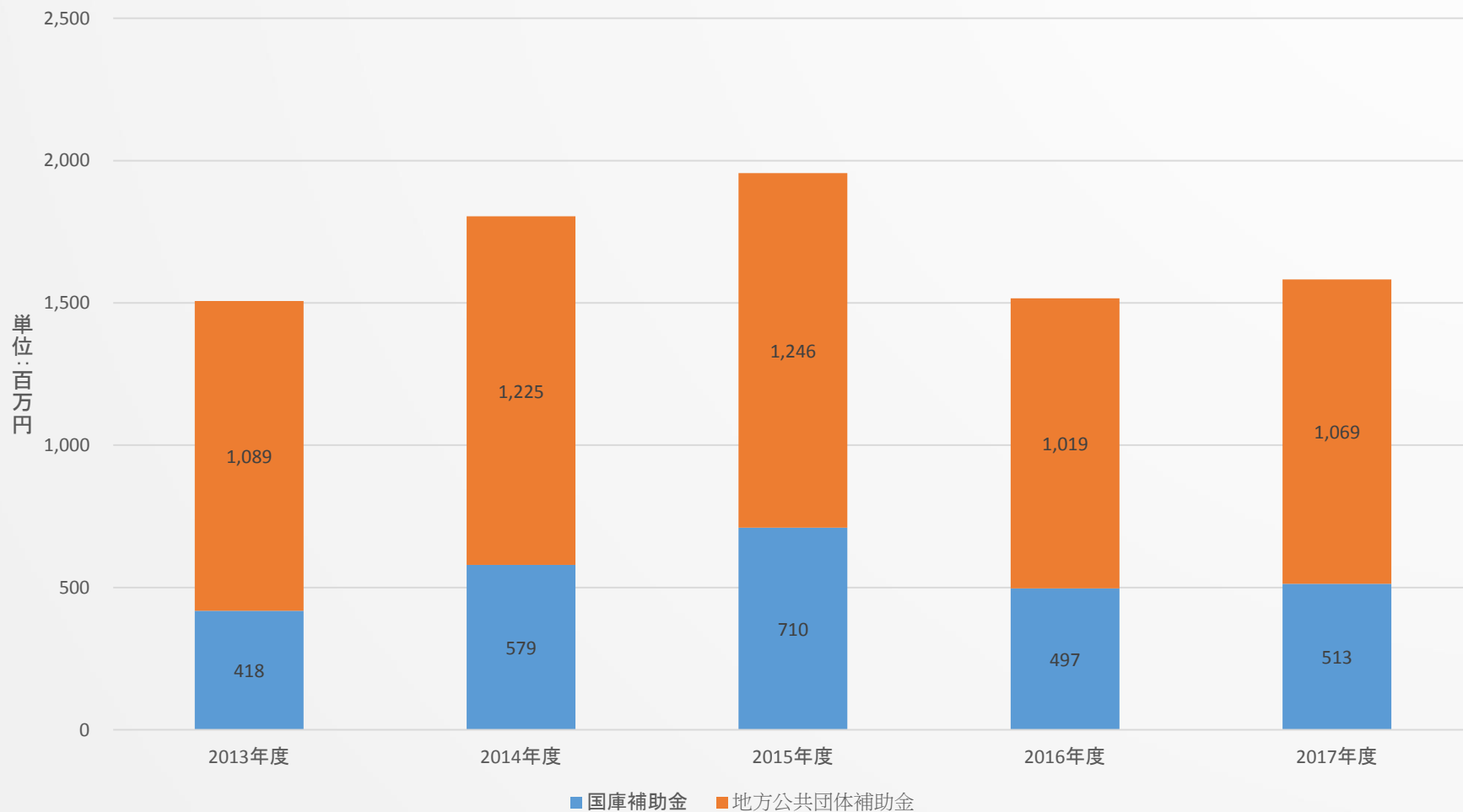
事業活動収支計算書



	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
志願者1人あたりの検定料(単位:円)	21,120	15,522	14,553	14,686	14,275

経常費補助金の推移

事業活動収支計算書



1. 事業活動収支計算書

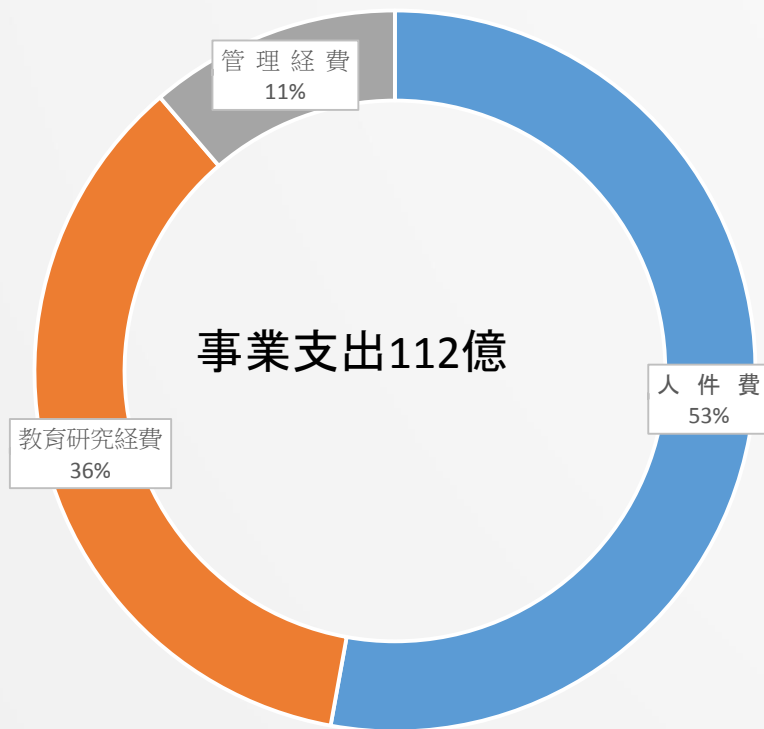
(2) 教育活動収支 事業活動支出の部

※端数処理のため、合計金額等が一致しない場合があります。

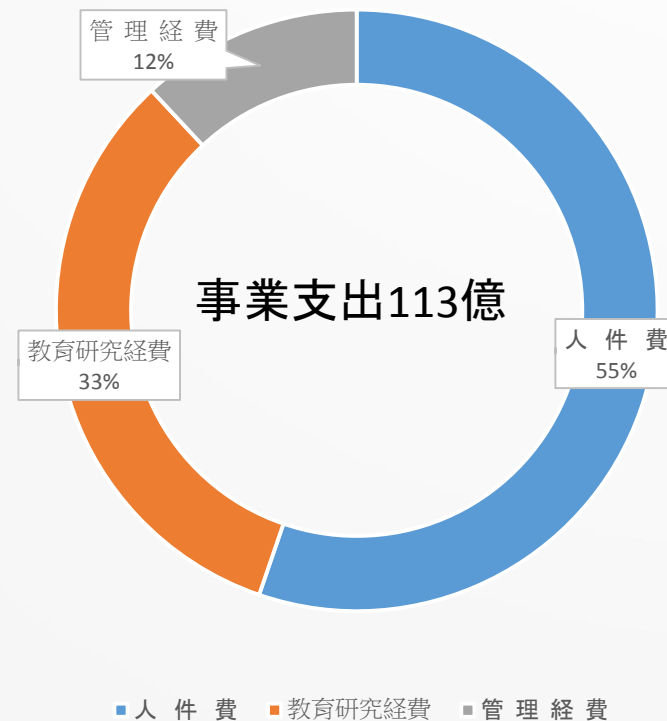
教育活動収支 事業活動支出に占める科目ごとの割合

事業活動収支計算書

【 2017(平成29)年度】

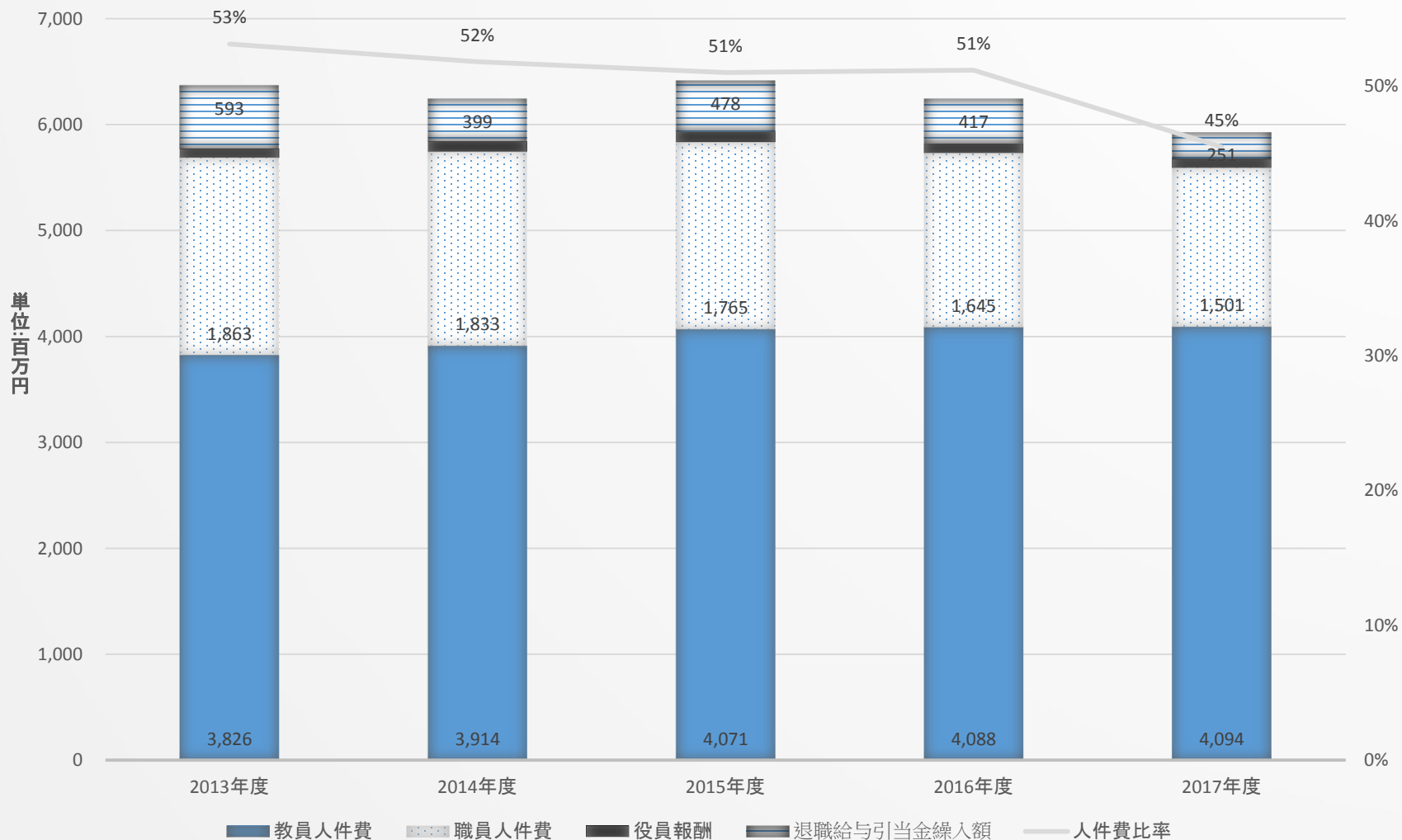


【 2016(平成28)年度】



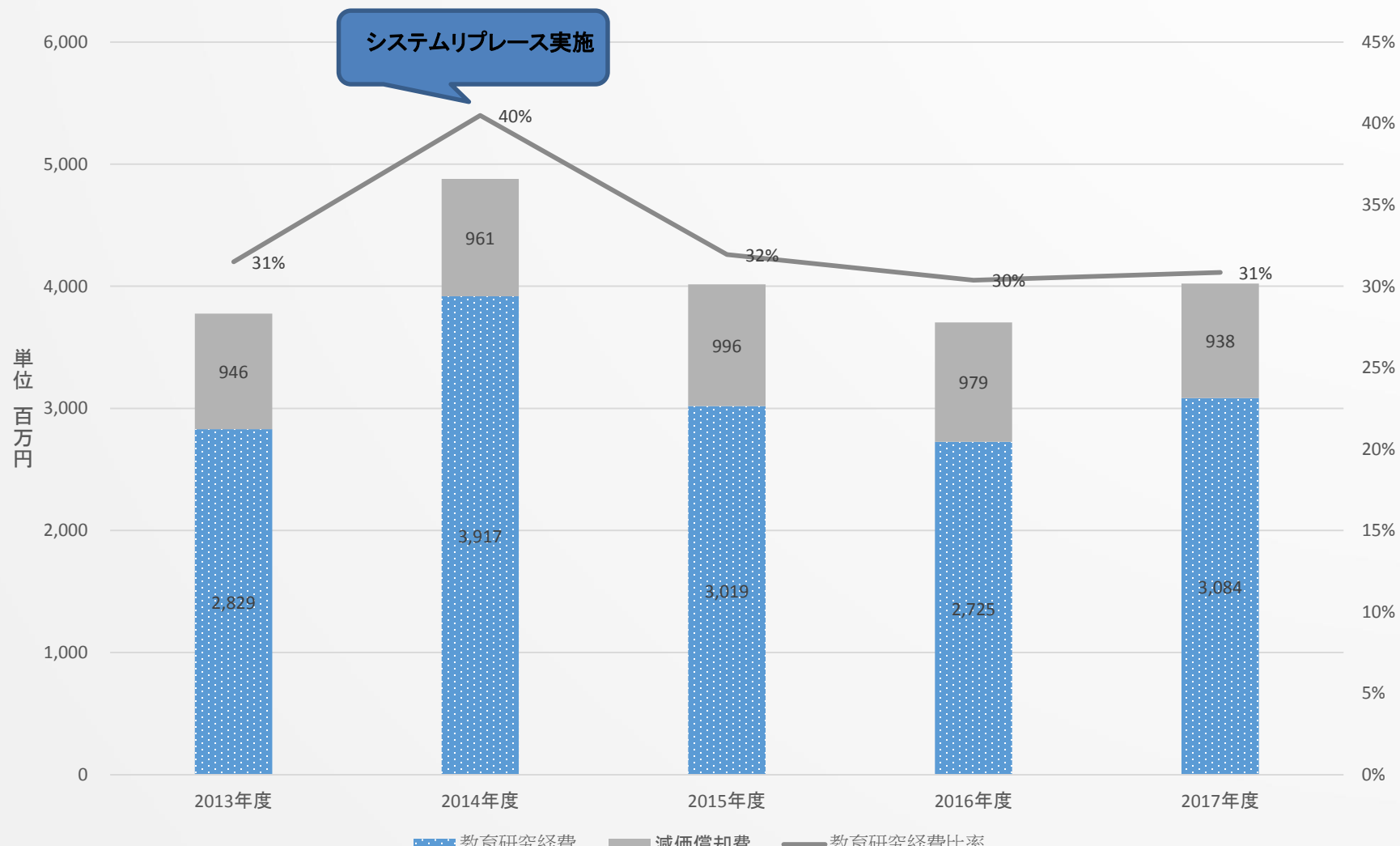
人件費と人件費比率の推移

事業活動収支計算書



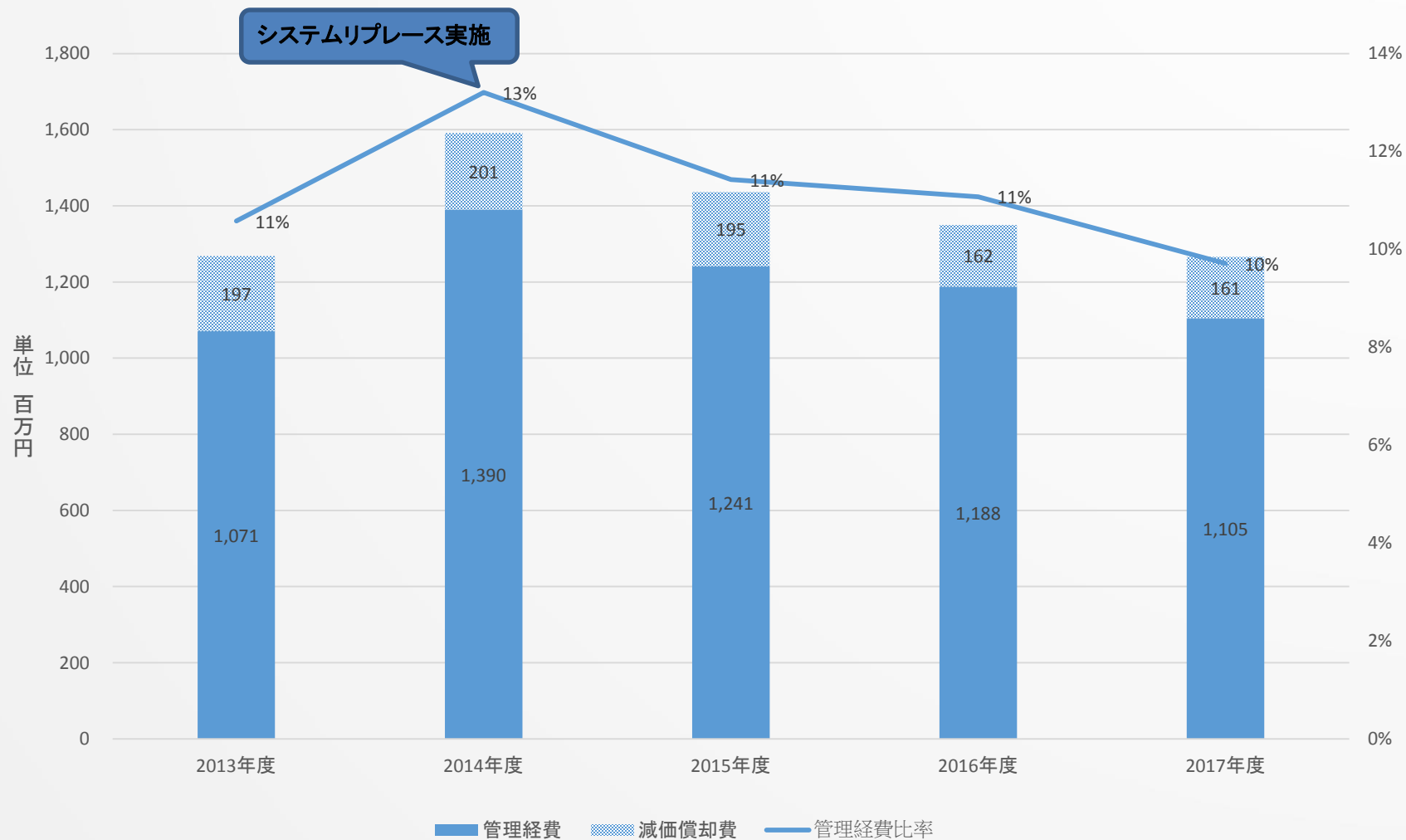
教育研究経費と教育研究経費比率の推移

事業活動収支計算書



管理経費と管理経費比率の推移

事業活動収支計算書



基本金

事業活動収支計算書

①第1号基本金(自己資金で取得した固定資産等の価額)

組入額 119億円 当期末残高 522億円

②第2号基本金(将来取得する固定資産の取得に充てる資産の額)

組入額 △94億円 当期末残高 0円

③第3号基本金(基金)

組入額 0円 当期末残高 6.1億円

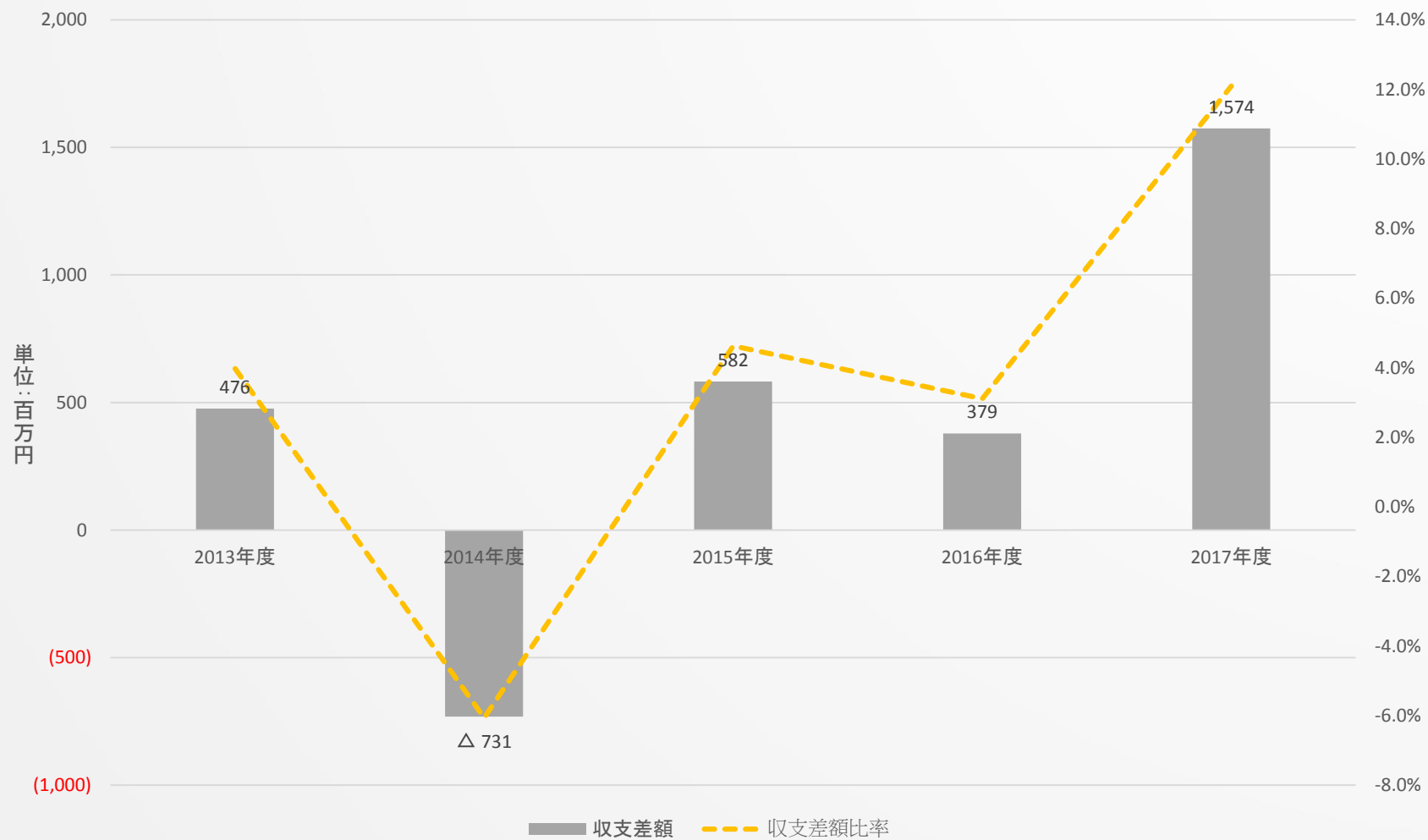
④第4号基本金(恒常的に保持すべき資金の額)

組入額 0円 当期末残高 8.4億円

合計 組入額 25億円 当期末残高 536.9億円

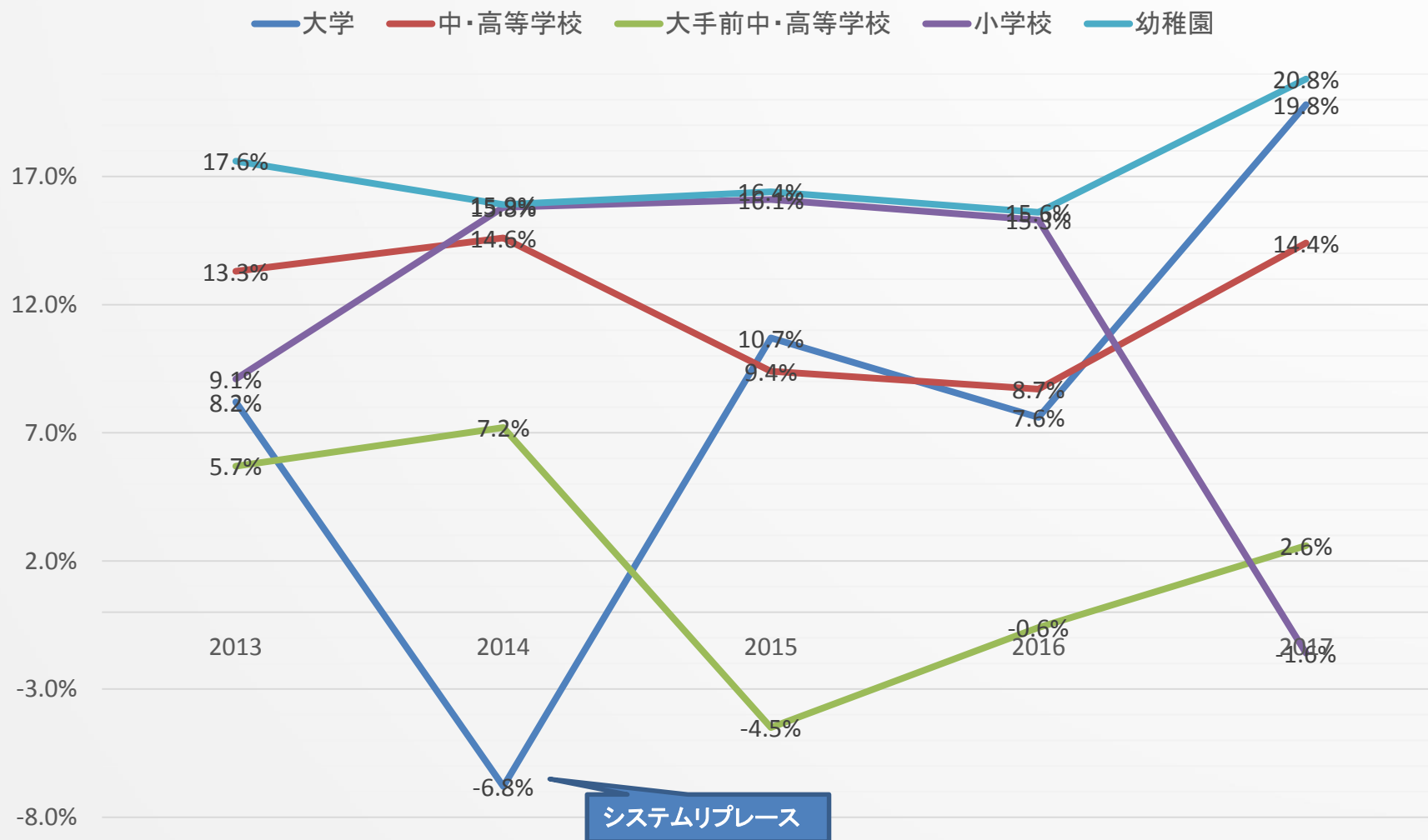
収支差額及び収支差額比率の推移

事業活動収支計算書



各学校園の収支差額比率の推移

事業活動収支計算書



2. 資金収支計算書

※端数処理のため、合計金額等が一致しない場合があります。

資金規模

資金収支計算書

収入の部
総額387億円

前年度繰越支払資金
46億円

当期資金収入合計341億円

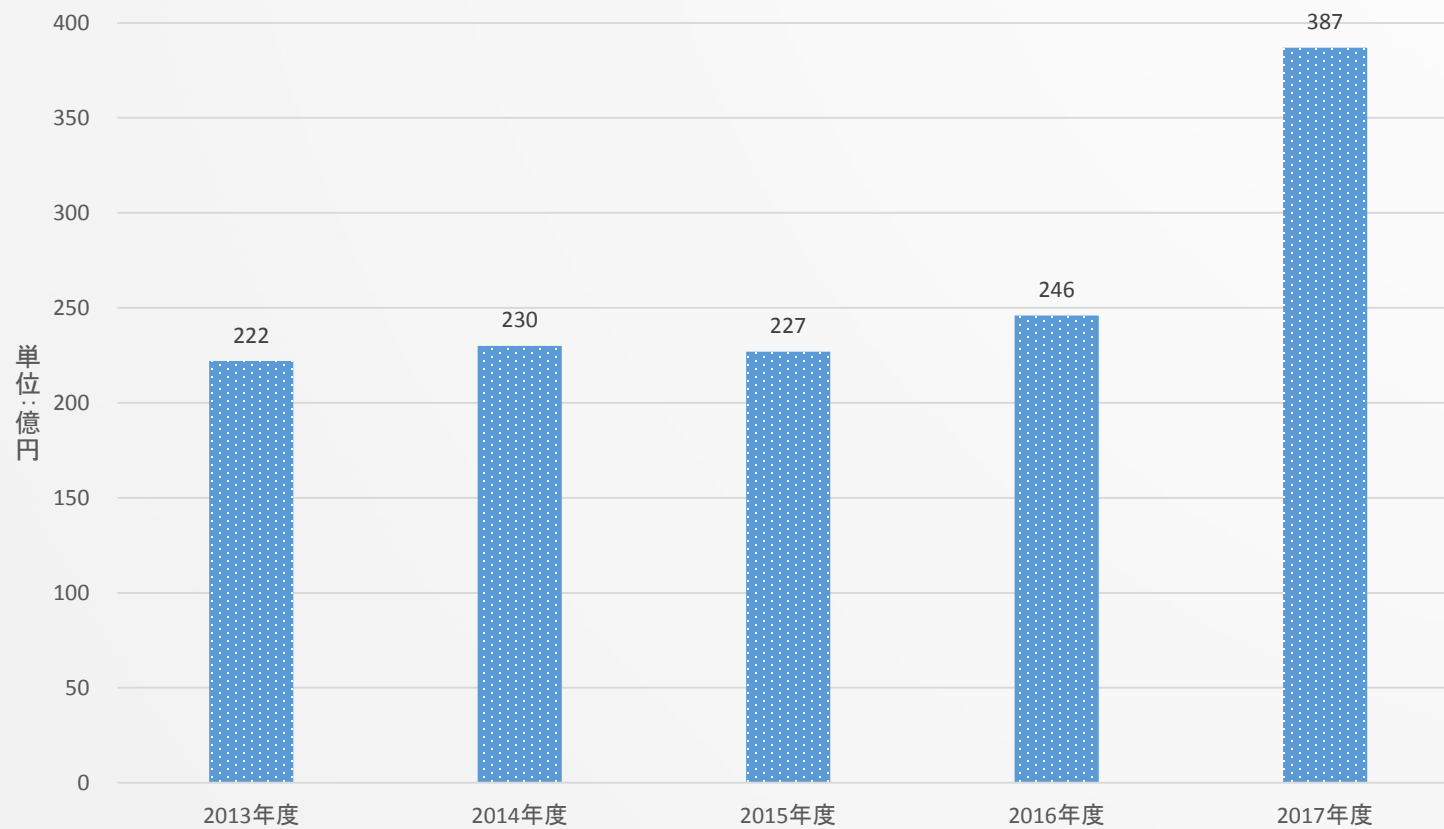
支出の部
総額387億円

当期資金支出合計305億円

翌年度繰越支払資金
82億円

資金規模の推移

資金収支計算書



学校法人会計の特徴と企業会計の違い

学校法人会計と企業会計の大きな違いは、その会計の目的にあります。

企業会計は、一会計期間の収益と費用から当期利益を算定し、経営成績を明らかにします。それによって企業の財政状態を知り、より高い収益性と安全性を図ることが目的です。

学校法人会計は、教育研究活動というきわめて公益性の高い事業を永続的に行うために、収支の均衡の状況と財務の状態を正確にとらえ、健全な経営をすることを目的としています。